

まちのわだい

さなだ

眞田家住宅と酔心山根本店 国の登録有形文化財(建造物)に



◀ 格子窓や黒しつくい塗り
の壁が特徴的な酔心山
根本店事務所

国の文化審議会は7月17日、地域の歴史的な景観づくりに貢献しているものとして眞田家住宅と酔心山根本店(いずれも東町一丁目)を国の登録有形文化財に登録するよう、文部科学大臣に答申しました。眞田家住宅は大正前期に建てられた主屋や昭和3年に増築された奥座敷など6件。寄木張りの床や三連窓を用いた客間があるなど、当時としては珍しい和洋折衷の建物です。酔心山根本店は明治35年に建築された事務所と土蔵の2件。旧山陽道沿いの景観を今に伝える建築物として評価されました。秋ごろまでに答申通り告示される見通しで、市内の登録有形文化財は12件となる予定です。 閩文化課(☎0848・64・9234)



▲眞田家住宅の主屋と表門



▲三連窓を用いた眞田家住宅の客間

復興などへの願いを込めて 三原港に七夕飾り

7月6日～14日、平成30年7月豪雨からの復興や新型コロナウイルス感染症の終息を願い、三原港に七夕飾りが設置されました。飾り付けはNPO法人みはらまちづくり兎っ兎のスタッフや地元の子どもたちが行いました。期間中には多くの人が訪れ、それぞれの願いを込めた短冊をササに結び付けました。

閩港湾課(☎0848・67・6107)



関係団体や市民と協働し 文化財などを清掃

市教育委員会は関係団体や市民の皆さんと一緒に文化財などを清掃しました。三原城跡の堀は「広島経済同友会三原支部」と、名誉市民・新藤兼人監督の映画「裸の島」の舞台となった宿禰島は「裸の島《宿禰島》を愛する会」と、国指定天然記念物の久井・矢野の岩海は「NPO法人宇根山」や地元住民の皆さんと清掃しました。今後も関係団体や市民の皆さんと協働して、文化財などを守っていきます。

閩文化課(☎0848・64・9234)



▲堀の藻をすくう広島経済同友会三原支部の会員



▲頂上付近の草を刈る裸の島《宿禰島》を愛する会の皆さん